

【コースB】医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成 講座概要一覧

プラン	講座番号	分野(スキル)	講座名	概要
B-II	1	デジタル・教育技法	文献・資料の検索（収集）方法と読み取り方	本講座では、デジタル情報資源を含む情報収集・分析のスキルを学ぶ。 具体的には、各種検索エンジン、データベース等の情報ツールを用いた情報探索の方法を知り、正確で多様な情報を迅速に収集し分析して活用することで、エビデンスに基づいて、学校の教職員や関連機関と連携して課題解決の計画を立て実践できる力を修得することを目的とする。
	2		エクセルによるデータ分析方法	Microsoft Excelを用いたデータの扱い方および基本的な統計分析手法をご説明します。表計算ソフトは表や帳票を作成するだけのソフトウェアではありません。正しく使えば、手間を大幅に減らし生産性を向上させることが可能なDXの最先鋒です。本講座では集計あるいは見える化だけではなく、データの蓄積や統計分析ソフト活用への橋渡しをも可能となる基本技能を習得して頂きます。
	3		効果的なプレゼンのためのスライドデザインの方法	社会においてコミュニケーションの重要性が高まるなかで、視聴覚機材を用いた表現技能を習得することが広く求められている。ここでは、プロジェクターや大型モニターへ表示されるスライドを、どのようにデザインすることが効果的なプレゼンにつながるのか、美術に関わるデザインの基本や心理学などの知見をもとにしながら、実践的に概説する。
	4		成人教育・研修におけるファシリテーター	教育・福祉・医療に携わるスタッフを対象とした研修を企画する時には、学習者であるスタッフを自律した「成人」としてとらえ、教育方法や内容を検討することが求められる。この講座では、ノールズの提唱する「アンドラゴジー」の考え方について学ぶ。また、研修を円滑に進め、スタッフが目標に到達することを支援するためのファシリテーターとしての役割について理解を深めることを目指す。
	5		e-learning 作成法（1）※	本テーマでは、e-learningの初心者にも分かりやすく、e-learningにおける最低限の注意すべき点、理解すべき要点、そして未来の全体像などを示します。具体例を交えながら、操作が苦手な方にはどのような教示が適しているか、LMS（学習管理システム）が何のためにあるのか、教育DXのコアはどこにあるのかなどを丁寧に解説していきます。
B-III	6	概念化スキル	看護管理、管理のプロセス	看護管理とは、患者・家族に対して質の高い看護を提供することを目的として、自己の所属する組織に求められる役割・課題を明確にし、よりよい看護サービスが提供できる組織運営を目指して働きかけることである。この科目では、医療・看護を取り巻く状況に大きな変化が生じる中で、看護管理、管理のプロセスについて知識を得るとともに、看護管理の手法についての理解を深めることを目指す。
	7	概念化スキル	病院組織における人材マネジメント	人材マネジメントにおける重要なデリバブルを包含する「組織と個人の成長・発展につながるキャリア開発の仕組み」について知識を得るとともに、形骸化しない目標管理と個人目標設定の関連要因などが、キャリア開発を構成する要素とどのような関係にあるのかについて、ケースを用いて理解を深めることを目指す。
	8	問題解決・分析能力	医療需要の変化と地域で求められる病院組織の役割	人口減少や高齢化に伴う医療ニーズの変化、労働力人口の減少を見据え、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築するためには医療機関の機能分化や連携を進めていくことが重要である。この科目では、2040年にむけた医療需要の変化や病院組織における受診傾向から、医療提供状況と地域における役割を理解することを目指す。
B-IV	9	多職種連携	多職種連携における課題	看護職とスクールソーシャルワーカー関係者との共同演習・グループワークにより、医療現場と教育現場におけるお互いの職種の特徴や役割、独自性と共通性を理解するとともに、課題への対応方法、運営方法、研修方法、他機関との連携方法等について学びあう。また、多職種連携の現状と課題について確認し、課題解決のために何が必要か考える。
	10			
	11			
	12	問題解決・分析能力	課題発見のプロセスとSWOT分析	組織の目標達成の戦略として、マネジメントサイクルのPDCA（Plan:計画・Do:実行・Check:評価・Action:改善）を実施していくプロセスについて学ぶ。また、現状分析としてSWOT分析の具体的な方法を理解し、組織の現状把握と分析する力を習得するとともに、取り組むべき課題を明確にすることを目指す。
	13			
14	構想・実行力	アウトカムマネジメント・病院組織におけるアウトカムマネジメント	アウトカムマネジメントである、模範的なケアの実践やサービスを開発・実施することによって、患者の生理的、心理的アウトカムを向上させることを目的とした医療の質の可視化について理解する。また、臨床におけるアウトカムマネジメントとして、質改善にデータ分析を活かす方法について、理解を深めることを目指す。	
15				
16				
B-III	17	概念化スキル	組織論と変革理論	組織論の知識をもとに、組織でのコミュニケーション、目的達成に向けた取り組みについて学び、保健医療福祉に関わる多職種との協働・調整についての理解を深める。また、変革理論の知識をもとに変革のタイミングを察知し、課題達成に向けた改善計画について理解を深めることを目指す。
	18	構想・実行力	病院組織における労務人事管理	少子高齢化の推移にともない、今後、人手不足がますます顕著になります。政府は少子高齢化対策として育児・介護休業法を改正し、女性ばかりではなく男性も子育てに参画することにより出生率の向上と人手不足の解消を目指している。一方、医療の現場等においては職員が仕事と子育てを両立できるような環境整備が求められている。本講座では現場のマネジメント層がこのような外部環境の変化を理解し、適切な対応ができるようマネジメント力の向上を目指す。
B-IV	19	構想・実行力	看護サービスにおける質保証	「課題発見のプロセスとSWOT分析」、「病院組織におけるアウトカムマネジメント」の演習および授業科目の知識をもとに、ドナベディアン看護の質評価の3つの側面（構造Structure・過程Process・アウトカムOutcom）を用いて看護の質を測定し、質保証に向けた改善案を考えることを目指す。
	20			
	21			

※「e-learning 作成法（2）」は、コースAのみで開講
 ・すべて現時点での予定として記載しているため、今後変更になる可能性がございます。